

小樽雪あかりの路実行委員会	
U R L	<a href="http://yukiakarinomichi.org/">http://yukiakarinomichi.org/</a>
音座なまらいぶ小樽	
U R L	<a href="http://onza-namalive.com/">http://onza-namalive.com/</a>
小樽観光ガイドクラブ	
小樽おもてなしボランティアの会	
小樽教育旅行誘致促進実行委員会	
U R L	<a href="http://www.otaru-kyouikuryokou.com/">http://www.otaru-kyouikuryokou.com/</a>
小樽観光大学校	
U R L	<a href="https://www.otaru-kd.com/">https://www.otaru-kd.com/</a>
北海道千年の森プロジェクト	
U R L	<a href="http://sennenno-mori.com/">http://sennenno-mori.com/</a>
旧岡崎家能舞台を生かす会	
U R L	<a href="http://kagamiita.cocolog-nifty.com/">http://kagamiita.cocolog-nifty.com/</a>
小樽伝統文化の会	
小樽浅草橋オールティズナイト	
U R L	<a href="http://music.geocities.jp/monpetit2686/asakusabasihome.html">http://music.geocities.jp/monpetit2686/asakusabasihome.html</a>
小樽ガラス市	
U R L	<a href="https://twitter.com/glass_market">https://twitter.com/glass_market</a>
北海道ジャズ	
U R L	<a href="http://hokkaidou-jazz.com/">http://hokkaidou-jazz.com/</a>
小樽AKYプロジェクト	
U R L	<a href="http://otaruaky48.sapolog.com/">http://otaruaky48.sapolog.com/</a>



小樽雪あかりの路実行委員会



音座なまらいぶ小樽



小樽AKYプロジェクト

## 起業をご検討の方へ



小樽に移住し起業する場合には、これまでの地域に関わったビジネスを小樽でも継続して行う、これまでの地域に関わったビジネスを辞めて小樽で新たなビジネスを行う、といった2つのパターンがあります。ここでは後者すなわち新たなビジネスを起業する場合の有効な情報を提供します。

### 客 層

小樽市民と観光客の2通りが想定されます。

小樽市民の人口は2016年7月現在で121,589人ですが、これまで毎年約2000人減少しています。このうち0～14歳9.22%、15～64歳53.75%、65歳以上が約38%を形成し、15～64歳のいわゆる生産年齢層が約65,700人で、この層の減少率が毎年高くなっています。そして12月～3月の4ヶ月間は小樽市民の外出頻度は急減します。したがってこういった実数をしっかり把握した上でのビジネス選びやビジネスモデル構築をする必要があります。

一方、観光客は平成26年には744万人、宿泊延べ数78万人で多少の増減はありますが、今後は増加する傾向にあります。

これを1日に換算すると入込は2万人/日、宿泊は2千人/日となり、したがって観光客が歩く拠点に観光客対象のビジネスであれば大いに有望です。しかし12月～3月の4ヶ月間は観光客動向も大きく減少しますので対策が必要です。

もちろん小樽市民を対象とするビジネスモデルも、規模や内容次第では有望です。特に高齢化率約38%市場は無視できません。

欲張って想定すると、市民で原価を稼ぎ、観光客で利益を上げるとも理屈では考えられますが、現実には市民が行く所と観光客が行く所は大きく異なっています。いろいろな現実的な手法を構築して、市民にも観光客にも喜ばれるビジネスを独自に形成していくことが求められます。